
北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 2号 (通巻 No.215)

2006年 5月 1日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。今回の予報は、漁期前半(5月~7月)の予報で、速報的な情報が中心です。

なおこの予報は、日本海側道府県水試も参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報本文は次のホームページでご覧になれます。水産庁(<http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>)、日本海区水産研究所(<http://www.jsnf.affrc.go.jp/>)。

今後の見通し(2006年5月~7月)

対象魚種:スルメイカ

対象海域:日本海

対象漁業:主にいか釣り漁業

対象魚群:主に秋季発生系群

- (1) 来遊量: 昨年および近年平均よりも少ない。
- (2) 漁期・漁場: 山形県~青森県は昨年を上回るが、新潟県以西では昨年を下回る。
- (3) 魚体の大きさ: 昨年より大きく、近年平均並み。
 - ・ 3月~4月中旬の山陰以西におけるスルメイカの漁獲量は昨年を大きく下回った。
 - ・ 昨年秋の幼生の分布密度は一昨年及び近年平均を下回った(図1)。
 - ・ 今年4月の新規加入量調査結果では、漁獲対象になる前のスルメイカ(主に外套長2cm~10cm)の分布密度は近年で最も低かった(図2, 3)。

北海道に来遊するスルメイカについての情報はまだ少なく、今後、変わっていく可能性があります。今後のスルメイカの来遊状況に関しては、5月下旬から函館水試金星丸が、6月下旬から中央水試おやしお丸が調査を行います。その結果をお待ち下さい。

また、漁期後半については、第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が7月に発表されます。情報については、随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

(文責: 中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)

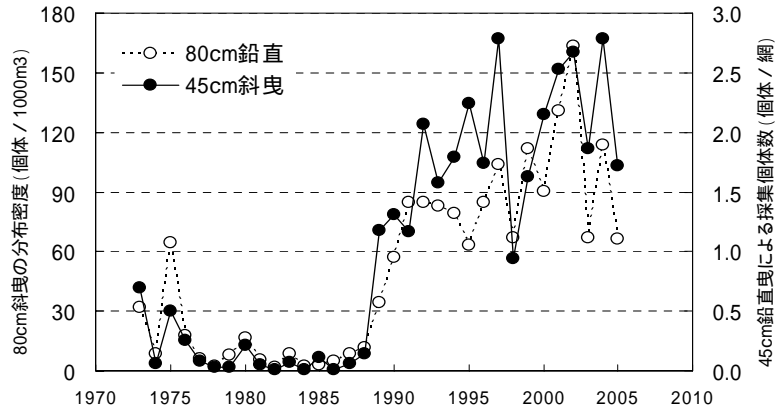


図1 口径80cm ネットの斜曳調査および口径45cm ネットの鉛直曳調査で採集されたスルメイカ幼生の平均分布密度の変化 (日本海南西部から九州北西部の海域で調査)

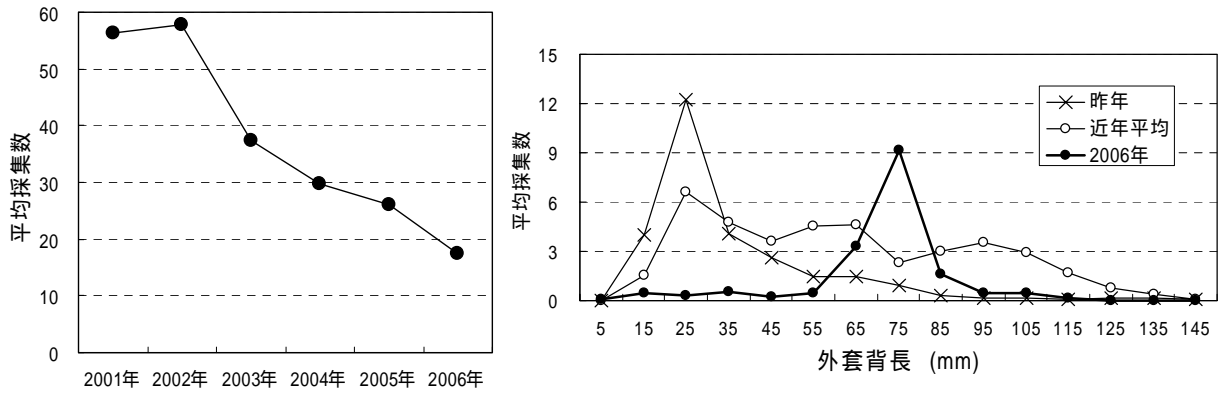


図2 新規加入量調査の平均採集個体数 (左図) 外套長別採集個体数 (右図)

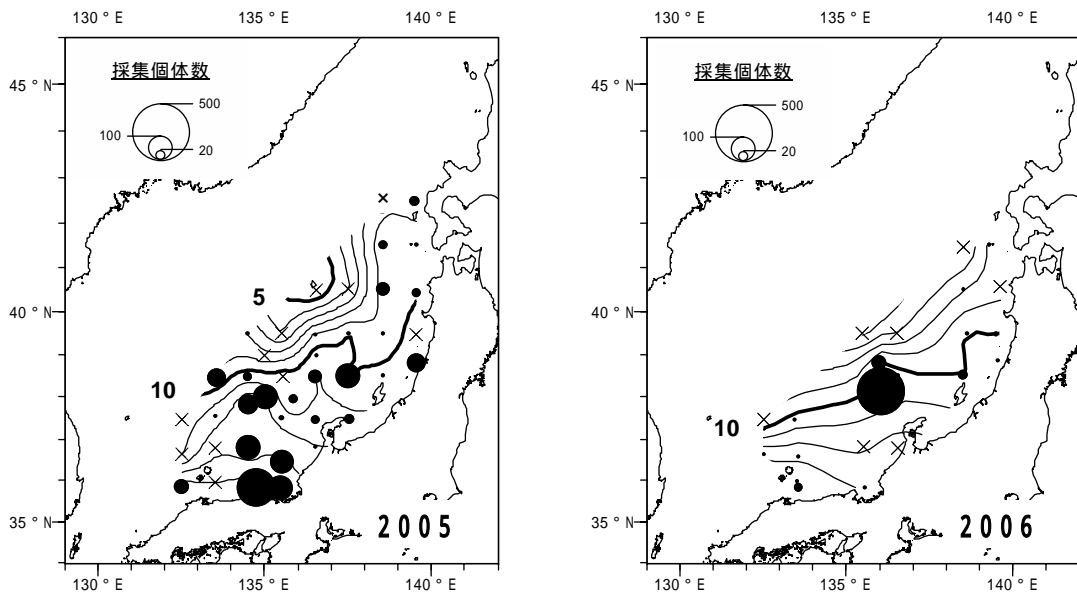


図3 新規加入量調査のスルメイカの採集個体数と表面水温分布